

# 【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会



↓富山県  
立山カルデラ砂防博物館Web



↑イミックSABOのイベントWeb

大規模崩壊、砂防事業の効果を間近で見ると！

←六九谷展望台  
からの崩壊

↓立山温泉の橋  
とトロッコ

## <概要>

- イベント主催：富山県  
(公財)立山カルデラ砂防博物館
- 施設管理者・事業実施協力：  
国土交通省 立山砂防事務所
- 旅行企画・実施：民間事業者
- 概要：  
・富山県と(公財)立山カルデラ砂防博物館が実施主体となり、博物館が開館した、1998(平成10)年から実施している。  
・立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)に乗って、立山カルデラと砂防堰堤などの砂防関係施設を巡るツアーを主催し、実施している。
- 参考URL：  
<https://www.pref.toyama.jp/1505/hakubutsukan/2023taikentorokko2.html>

工事専用軌道(トロッコ)に乗って、  
砂防事業の困難さを体感！



国の重要文化財や、石積みによる  
歴史的で空間美のある砂防堰堤！

西ノ谷堰堤



泥谷砂防堰堤

# 【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会 解説

## <役割などの解説>

- (公財)立山カルデラ砂防博物館(イベント主催、指定管理者)
  - ・(公財)立山カルデラ砂防博物館は、富山県立山カルデラ砂防博物館の指定管理者である。
  - ・砂防博物館は、立山の自然及び火山活動とその後の侵食によってつくられた「立山カルデラ」や、富山平野を土砂災害から守るために100余年にわたり続けられている砂防事業を、広く一般の方に知っていただくための役割がある。
  - ・また、「立山カルデラ」を博物館にとつての野外ミュージアムと位置付けしており、富山県と共に、立山カルデラ砂防体験学習会のイベント主催者となっている。
  - ・各箇所の説明・ガイドは、博物館職員、NPO法人富山県砂防ボランティア協会(元県職員)及び立山・神通砂防スペシャルエンジニア(元国土交通省職員)が中心となり実施している。
- 民間事業者(旅行企画・実施、バス運行等)
  - ・砂防博物館から、旅行企画・実施及びバスの運行業務の委託契約を受け、運営に参画している。
- 国土交通省立山砂防事務所(施設管理者・事業実施協力)
  - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
  - ・工事専用軌道であるトロッコに参加者を乗せて運行を行っており、トロッココースの催行に際して、職員を同行させている。

## <注目ポイント>

- ・ツアーでは、立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)を使用し、常願寺川沿いの急峻な山道を8か所38段のスイッチバック、12のトンネル、18の橋を渡り、約18kmを移動し、砂防施設、立山カルデラの壮大さを間近で見ることができる。
- ・また、トロッココースの他に、バスコースも実施しており、年間であわせて1,500名程度の参加者枠を設けている。(※コロナ禍以前)
- ・国重要文化財として指定されている「常願寺川砂防施設」である白岩堰堤砂防施設(平成21年指定)、本宮堰堤、泥谷堰堤(平成29年に追加指定)を実際に、現地で見ることができる。
- ・「日経トレンドィ」2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラランキング」第3位

## <実施体制の概要>

